

## 公政会



質問者

林 利幸議員

福祉病院教育常任委員会



令和5年度は歳出抑制のために具体的な数字をあげ取り組むのか



単年度数値のみの削減目標ではなく一件査定方式で丁寧に検証する

Q 令和5年度の予算編成方針と取り組む最重点施策は何で、令和5年度は財政健全化に向け具体的な数字をあげ歳出抑制をするのか。

A 予算編成方針は現在検討中。公約に掲げている「若い世代が出て行かず誇りを持ち他から移り住みたい都市にする」ことを目指す。一方で今後の持続可能な財政運営を見据え現下の厳しい財政状況の改善にも取り組む必要があり、さらなる事業の選択と集中が必要だと考えている。最重点施策についても現在検討中であるが、持続可能なまちづくりのために「市民の生命・財産を守る取組」をはじめ「人口増加に結びつく施策」に優先的に取り組んでいきたい。現在令和5年度から令和9年度に着手を検討している新規事業を把握し、後年度の財政負担について検証中。単年度数値のみの削減目標ではなく、一件査定方式により一つ一つ丁寧に検証していく。



彦根城世界遺産登録までのスケジュールは



文化庁からは今後のスケジュールが示されていない

Q 2022年度の新たな国内推薦の選定は行わないと決まったが、文化庁や県から本市に対しどのような経緯で説明があったか。また今後のスケジュール変更による推薦書素案作成への影響は。

A 県も本市も7月28日の報道で初めて知った。8月1日に文化庁から県に対し「今年度佐渡島の金山を再推薦することになったので新たな選定は行わない」との電話連絡があり、その後県より本市に連絡があった。現段階で文化庁から彦根城世界遺産登録にかかる今後のスケジュールは示されていない。県と連携し文化庁に対し登録の実現に必要な作業や今後のスケジュールについて明確な説明を求めていく。スケジュール変更で準備期間がいただけたと前向きに捉え、推薦書素案をより良いものにするため、また機運醸成の更なる向上のための取組を継続し精力的に行う。



▲世界遺産登録を目指す彦根城



その他の質問

・県立高等専門学校の誘致について



# 創風会



質問者

長崎 任男議員  
企画総務消防常任委員会

**Q** 財政再建の実績と  
今後の見通しは

**A** 懸命に取り組んでいるが、  
状況は非常に厳しいと  
認識している

**Q** 市長の就任から今日までに市長自らが取り組まれた財政再建の実績と今後の見通しは。

**A** 市長就任後、財政再建のために私が取り組んだ主なものは、旧ひこね燦ぱれすの解体を中止し、図書館として有効活用する中で、清崎町に建設予定の中央図書館を財政状況が改善するまで延伸したことや、荒神山トンネルを掘るアクセス道路案を中止したこと、細かいところでは契約価格の低減で、まずは入札にかける、壊すものであれば最低落札価格を下げるなどの取組を積み重ねている。今後の見通しについては、大型事業にかかる市債の元金償還が始まることから、2023年度からの3年間は、毎年、歳入から歳出を差し引いた額が25億円の黒字にならなければ非常に厳しいと認識している。



▲財政再建を目指す彦根市

**Q** 市長公約である子どもの  
医療費無償化の進捗状況は

**A** 実現するため、経費や関係機関  
との調整を検討している

**Q** 市長公約で、若い世代が出ていかず、さらに移り住んでもらえる市を目指すため、限られた財源の中でも最大限の子育て支援をするとされた中で、現在の子どもの医療費無償化の進捗状況は。

**A** 子どもの医療費の無償化については、本市は、県内他市町と比べ、最も遅れている状況であり、市長任期中の令和6年度までに、まずは小学4年生から小学6年生までの通院医療費の無償化を先行して実施するため、現在必要となる経費や関係機関との調整を検討している。中学3年生までの通院医療費の無償化は、令和4年6月議会での答弁のとおり、財源確保の状況を踏まえ着手したいと考えており、事業見直しなどの取組により、財源確保を図っていく。



## その他の質問

- ・先送りされた彦根城世界遺産登録の影響は
- ・学校給食費の無償化への進捗状況は
- ・国道8号の消雪装置はいつ設置されるのか

# 夢みらい



質問者

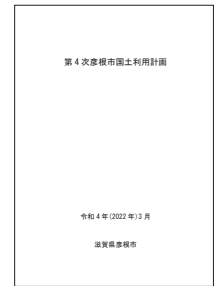
森田 充議員  
市民産業建設常任委員会

**Q** 子育て支援ゾーンを指定することへの本市の見解は

**A** 利用者にとってわかりやすく、利便性向上が期待できる

**Q** 本市においては他市町と比較すると子育てしにくいまちに感じている子育て世代がおられる。子育て支援ゾーンを指定することで、子育て世代にもわかりやすく今後の施設整備の際にもゾーニングによって集中させることが適切であると考えますが市の見解は。

**A** 子育て支援に関連する施設が面的に整備されることで、利用者にとってわかりやすく、利便性の向上が期待できる。  
また、第4次彦根市国土利用計画において南彦根駅周辺を含む中部地域は、商業・業務・公共サービス機能が集積する都市拠点を形成する地域であり、公共施設機能を生かした健康・文化・交流のまちづくりを進めるとの土地利用の基本方針にも合致している。一方、市内のどの地域においても同様なサービスが受けられることの配慮も必要であるため研究していく。



**Q** 本市のスポーツ合宿招致事業への意気込みは

**A** 稼働率向上、にぎわいの創出の観点から有効な手段と認識している

**Q** 本市においてもプロシードアリーナHIKONEに誇りを持ち、現在建設中の(仮称)金亀公園第1種陸上競技場や荒神山公園などの各施設と密な連携を図り、また、宿泊や観光(食を含む)を巻き込み合宿招致事業を推進していただきたいと考えている。

本市のプロシードアリーナHIKONEを基軸とした合宿招致事業への意気込みは。

**A** 合宿の招致についてはプロシードアリーナHIKONEの稼働率の向上および「にぎわいの創出」の観点からすると非常に有効な手段と認識している。  
まずは、県内はもとより、県外、近畿、全国に向けて当施設のことを知ってもらう必要があり、指定管理者や宿泊、飲食などの関係団体とも連携し、当施設を合宿先の選択肢に入れてもらうために、広報活動やイベント、各種大会の招致に努めていく。



▲「にぎわいの創出」を目指したプロシードアリーナHIKONEの完成イメージ



その他の質問

- ・令和5年度当初予算編成について
- ・ヤングケアラーについて
- ・民生委員児童委員と主任児童委員について

